

8. 小中一貫教育の導入（案）

（１）学校再編における小中一貫教育の導入

「6. 検討結果及び整備方針(P18)」より，境第二中学校区の3校については，小中一貫教育の導入によって，小学校・中学校全体として一定の集団規模の整備を目指します。また，「9. 資料編（１）小中一貫教育についての基本的事項(P24)」の文部科学省手引きの中で「小中一貫教育に取り組む場合に，必ずしも施設一体型を目指そうとする必要はない」としながらも「施設分離型の小中一貫型学校は，義務教育学校や施設一体型の学校と比べればメリットが見えにくい」という意見についても触れていることから，学校再編において小中一貫教育を導入する際は，より高い教育効果を望める施設一体型の義務教育学校の設立を視野に検討していきます。

また，境第一中学校区域内の4校は，当面，現状維持となりますが，当該区域内においても，学習指導や生徒指導等において，義務教育9年間を通じた小中学校間の連携を，より一層図る教育を推進していきます。

（２）対象学校の現状及び児童生徒数の将来推計

①現状（令和4年5月1日現在）

小中学校	猿島小学校	森戸小学校	境第二中学校
児童・生徒数（R4.5）	189 名	177 名	201 名
学級数（特別支援）	7 学級（3）	7 学級（3）	6 学級（3）
建築年数	44 年	44 年	19 年
校舎延べ床面積	2,936 m ²	2,765 m ²	4,647 m ²
運動場面積	6,970 m ²	9,155 m ²	16,983 m ²
敷地面積	20,024 m ²	19,060 m ²	33,503 m ²

②猿島小学校・森戸小学校・境第二中学校の児童生徒数の推移

（表 8）

再編しない場合		
学校名	令和4年	令和10年
猿島小	189 名	133 名
森戸小	177 名	128 名
境二中	201 名	177 名

再編した場合		
学校名	令和4年	令和10年
義務教育 学 校	567 名	438 名

(3) 学校再編案について

目 的	☆猿島小と森戸小と境二中の小規模化を解消し、かつ、9年間を見通した小中一貫教育の導入によって、さらに児童生徒の個性や能力を伸ばす教育の充実を図ること
再編案	<u>◎猿島小と森戸小と境二中を統合し、義務教育学校とします。</u> <u>統合後の場所は境二中とします。</u> (理由：猿島小と森戸小の統合により、ほぼ望ましい規模の学校となりますが、境二中は小規模校のままとなります。そこで、3校を施設一体型の義務教育学校とすることで、学校全体として一定の集団規模を確保しつつ、児童生徒の個性や能力を育成したいと考えます。場所選定の理由は、境二中が猿島・森戸地区の中央に位置しているためです。また、比較的新しい境二中の校舎を有効活用することができるためです。)
期待できる教育効果	○義務教育学校という一つの学校組織及び施設一体型となることで、9年間を見通した特色ある教育活動を、教職員間で緊密に連携しながら行うことができます。 ○義務教育学校設置に伴い、必要となる施設等を境二中に整備することで、小学生も、より安全で整備された学校に通うことができます。
留意点	○現猿島小・森戸小校区で、通学距離が長くなる児童が出てくる可能性があるため、通学バスの利用について検討をします。 ○現在の中学校の校舎等では、小学生用の教室等が不足するため整備を行います。 ○学校と地域との関係が希薄化しないように、学校運営に参画する学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度の活用を検討します。

(4) 境第二中学区 学校位置図

【参考】境二中までの道のり

- ・猿島小学校 → 約 1.1 k m (徒歩約 17 分)
- ・森戸小学校 → 約 2.3 k m (徒歩約 34 分)
- ・喜五郎公民館 → 約 4.4 k m (徒歩約 1 時間 7 分)
- ・若林本田公民館 → 約 3.8 k m (徒歩約 58 分)
- ・桐ヶ作・新田戸
構造改善センター → 約 4.8 k m (徒歩約 1 時間 12 分)

